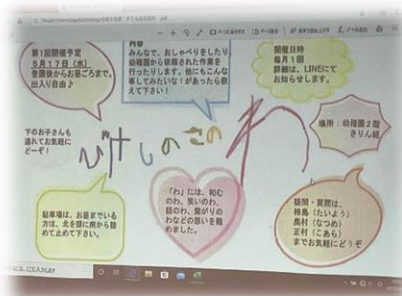


みんなで子育て No. 3

岐阜県環境生活部 環境生活政策課 家庭教育推進専門職：辻 Tel 058-272-8752

岐阜市立岐阜東幼稚園「県制作の家庭教育動画の活用」5月10日



岐阜東幼稚園では5月10日にPTA総会が行われました。**会が始まるまでの待ち時間に、県が制作した家庭教育動画を保護者に向けて流されました。**当園では、夏と冬の長期休みに「わが家の約束運動」を実施されており、その説明の意味も含めて、今回は「思いを伝えいっしょにやりきろう『話そう！語ろう！わが家の約束』運動」動画（8分25秒）を使用されました。

岐阜東幼稚園の家庭教育学級は「たんぼぼ学級」という名称で行われており、学級長さんのお話では、6月の開級式では園長先生のお話、11月には保護者が希望するテーマでの講演会、1月には「活動」を主とした家庭教育学級を計画されているということです。

また、毎月1回、希望の保護者が集い、おしゃべりをしながら園から依頼があった作業等を行う、**保護者主催の「ひがしのこのわ」という会を開かれているそうです。**保護者同士が繋がる場を設けたいということで始められた会で、各保護者にはLINEで案内が届きます。

園独自に、卒園児の有志保護者による、子育てサポーター「萌え木」を組織されており、園行事、家庭教育学級などの際に託児ボランティアを募ってみえます。子育てをお互い協力して行おうとされている岐阜東幼稚園の保護者の皆様の志が素敵だなと感じました。

わくわく フェスティバル 5月27日

岐阜東幼稚園では、創立50周年を迎えられ、式典の後に親子で参加するワークショップ（CDゴマ作り・タブレット遊び・缶バッジづくり・木のおもちゃづくり・万華鏡作り・シューティングゲーム・魚すくい・おもしろ実験・大道芸）が行われました。地域の未就園児とその保護者を対象にしたワークショップもあり、たくさんの方が来園されていました。



この日参加されていたお父さんに、お子さんとの日頃のふれあいについてお尋ねしたところ、平日はほとんど仕事の関係で、起きている時に会えないので、土日は公園などで一緒に遊ぶようにしていますとのことでした。

下の子が誕生して半年なので、この催しにはお父さんが参加されたようですが、お子さんは、お父さんと一緒に笑顔いっぱいでした。

岐阜県商工会女性部会リーダー講習会(4月27日)にて「企業内家庭教育研修」について説明をさせていただきました！



岐阜県商工会女性部会の奥村会長様のご厚意により、同講習会にて、企業内家庭教育研修について説明させていただける機会を得ました。

昨年度実施した企業内家庭教育研修の活動内容を紹介しながら、参加者からの感想や、開催された企業の社長さんなどの声なども紹介させていただきました。県下各地区を担当する専門職全6名が自己紹介し、各地区代表会員の方とお話する機会を設けていただけたことに、大変感謝いたしております。今年度の企業内家庭教育研修が、多くの企業で活発に開催されることが期待されます。

令和5年度 岐阜地区家庭教育学級リーダー研修会実施報告

ご多用の中、リーダー研修会にご参加いただき、誠にありがとうございました。
 今年度も、Web会議方式で研修会を開催いたしました。教育施設からはもとより、職場やご自宅から参加していただいた方もあり、参加者の皆様のご負担を少しでも軽減できたならば幸いです。
 昨年度は発表者の方に、総合教育センターまで足を運んでいただきましたが、今年度は市役所や発表校のお部屋をお貸いただき、その場所から実践事例発表を行っていただきました。Web方式の利点を昨年度より活かした形で、大きなトラブルなく開催できたことを大変うれしく思っています。
 後半の交流会の様子もリモートで拝見させていただきましたが、「今日教えていただいたことをもとに、計画を見直してみたいと思います。」「初めてのことで分からない事ばかりで不安でしたが、皆さんからいろいろ教えていただいて、少し気が楽になりました」というお声を聞いたことに、リーダー研修会の主催者側として、大変満足しているところです。
 交流の時間を少しでも多く確保するため、一部オンデマンドでの事前研修とさせていただきます。参加者の皆様からご回答いただきましたアンケート結果を丁寧に分析し、今後もより良い研修会となるよう努めてまいりますので、ご協力をよろしく願いたします。
 資料が手元に届かなかったところもありご迷惑をおかけいたしました。申し訳ございませんでした。

実践発表 山県市立みやま保育園（幼・保の部） 5月11日

家庭教育学級 実績

- ▶ 5月 楽しく学べる【いのちの授業】【学校行事・講演会】
- ▶ 6～7月 親子で本を読む【在宅】
- ▶ 8～9月 親子の絆を更に深くしよう【在宅】
- ▶ 10月 家族みんなで灯籠をみよう【学校行事・子育てサロン】
- ▶ 11月 シートベルトの大切さを学ぼう【学校行事・講演会】
- ▶ 1～2月 家族で、はみがきチャレンジ【在宅】

山県市では、市役所に設けられたサテライト会場に、市内の各園の担当者が集まっての参加でしたが、みやま保育園の発表者の方には、別室から発表していただきました。

みやま保育園では、**行事参加型、講演会型、サロン型、在宅型と、異なる形態の学級をバランスよく計画し実施**されています。

案内文書は「参加してみようかな」「やってみようかな」という気持ちになってもらえるように、イラストや色文字などを効果的に使って作成されています。

また、実践カードも子どもたちが**楽しみながら取り組むことができるようにシールを貼ったり、絵を描いたりできるように工夫**されている点は、是非参考にさせていただきます。

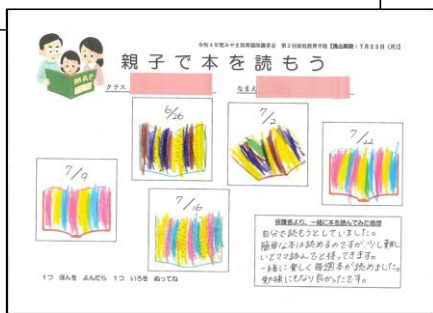


サテライト会場の様子です！
後半の部では、机を口の字にして、今年度の計画等の交流を行われました！

《参加者の感想》から

子どもたちの為というのが、とても伝わる実践をされていて、素晴らしいと思いました。親子で参加したくなるような工夫がされていたので、今後、本園の活動にも取り入れたいと思いました！

家庭教育学級の目的がしっかりとしており、素敵な取り組みだと思いました。役員になった保護者の方の義務的な仕事ではなく、子どもたちの家庭教育がよりよくなるように工夫され、何より楽しく取り組んでいらっしやるところがとても魅力的でした。勉強になりました。ありがとうございました。



実践発表 北方町立北学園（小学校の部） 5月12日



北学園は、今年度、旧北方小・北方西小・北方中（2つの小学校区の中学生）が統合した義務教育学校（9学年制）です。町として取り組んできた合同テーマが、子どもたちの実情と合わなくなったため、**各家庭で話し合って決めることができる選択方式を取り入れられたこと**について、旧北方小学校

の取組を中心に発表されました。「家のお手伝い」を選択した家庭が多いですが、どの学年も2割ぐらいが家庭が「節メディア」を選択、5・6年生になると「防災」を選択する家庭が多くなることが分析結果からわかりました。今年度、学級長さんは「防災」について「親子活動型」の取り組みに挑戦したいという願いをもっておられており、新たな取組がとても楽しみです。

取り組み内容紹介①

選択性の在宅取り組み

- 北方町は一つ 北方の子をみんなで育む
町内4校合同テーマを設定
- ◎ 学校の思い
「NOメディア」から「賢くメディアを利用する」取り組みにしたい。
 - ◎ 保護者側からの意見
年齢が異なり、生活リズムが合わない。
1つのテーマではなかなか合わない。
→ 各家庭で選べるようにしてはどうか？

選択制の取組

3つの中から選択

- ① 節メディア
- ② 家のお手伝い
- ③ 防災

● 後期のスタートとともに実践
期間：令和4年10月17日(月)～10月21日(金)

《参加者の感想》

北学園さんの、選択性の取り組みが勉強になりました。子どもも自分で選んだ取り組みでしたらより頑張れるのかなと思いました。メディアや防災などの扱ってみえるテーマも親、子ども共に今勉強したい事だと思うので、良いと思いました。ありがとうございました。

町内の学校が合同テーマで取り組んでおられることや、選択制の取り組みといった、本校にとっては新たな形態での家庭教育学級のあり方を紹介していただき、大変参考になりました。また、講演会のテーマや内容についても、保護者の関心が高いもので、正に家庭教育（子育て）に活かせる素晴らしい実践だと感じました。

実践発表 岐阜市立長森中学校（中学校の部） 5月19日

コロナ禍（現在）

長森中学校では、**コロナ禍でいろいろな活動が制限されて今までのようにできない時だからこそ、家庭教育を大切にしたい、親子のふれあいを大切にしたいと考えられ、活動を仕組まれている**という発表でした。

昨年度、「お金」をテーマにした応援通信を作成するため、県民生活課に相談したところ、長森中学校から講師派遣要請をいただいたことがあるというお話を伺いました。3年度の家庭教育学級の取組において、在宅型に変更して行われたことが、今回の発表の中で紹介されましたが、**その時の旬のテーマを積極的に取り入れてみえる点も見習いたい**ところです。



委員長さん

コロナでこれまでのようにできないし、学校からも無理して活動しなくてもとは言われるけれど、今は、これまで以上に、家庭で過ごすことが多くなっている。そのため、**今だからこそ、家庭教育がすごく必要ではないか。**

でも、何をやればいいのか？何ができるのか？ただ、形だけ実施しても意味はないし・・・

委員長さん

コロナ禍（現在）

親子での会話やふれあいの親子時間を増やしたい！
【第1回家庭教育学級】
子供と保護者が家庭内で自分が守る約束を決めて、取り組む。その様子を子は親を、親は子を評価し、メッセージを伝える。

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動

- ① おさんと保護者がそれぞれ自分の約束を決める。親子で同一、別々でもOK。親子で話し合い、一緒に取り組むことを目的とする。
<子どもの約束例>
「家族に挨拶をする」「ありがとうを伝える」「スマホは〇時まで」「お手伝いをする」
<保護者の約束例>
「〇しなさいと言わないことを心がける」「1日1つ以上家族を誉める」
- ② 夏休み期間中、1週間を目安に取り組む。
- ③ 約束の達成度を自己評価して%で記入する。
- ④ 保護者は子どもの、子どもは保護者の達成度を評価する。
- ⑤ 子どもから家族へ、保護者から子どもへ、メッセージを記入する。
- ⑥ 家族でお互いの取組を振り返り、感想や反省を記入する。

令和3年度 「親子で学ぶマネー講座」

※成年年齢が18歳に引き下げられることで変わるお金の事情を親子で学べるよう、動画サイトを紹介し、各家庭で視聴してもらう。

令和4年度 「家族で防災グッズチェック」

※災害時の非常持出品、非常備蓄品が自分の家庭で準備できているかをチェックリストをもとに、親子で確認する。

《参加者の感想》

コロナ禍のピンチは、「チャンス」って考え方すごいと思います！

どの学校もこのコロナ禍で十分な活動ができていないと思います。それでもできることを考え、取り組んでくださりありがとうございます。本校のPTAも本部役員がフル回転で生徒のため、学校のために動いてくださっています。学校関係者として、感謝しかありません。



地球温暖化について親子で学んで 生活に活かそう！

岐阜県の環境に関する情報を一元化した「ぎふ環境ポータルサイト」内で、地球温暖化の現状や対策について学べる環境学習用動画「ギフミライ」を公開しています。親子で視聴しながら環境学習をされてはいかがでしょうか。実際の生活の中でどんなことができるかのヒントも示されていますので、学習後は、親子で「〇〇家の実践内容」を話し合ってみてください。

全ての動画を見終えたら、確認の意味でクイズにも挑戦してみましょう。しっかり問題を読まないといけないかもしれないですよ！ けっこう難しいです！



地球温暖化の現状や生活の中で取り組めることなどをクイズに答えながら学ぶ環境学習用動画です。未来のために、できることから始めましょう。

※おすすすめ対象：小学校高学年以上 ※活用例：環境学習の授業、自主学習等

■ギフノミライ<学習編ムービー> (各6分程度)
地球温暖化の現状や影響、その対策について学習することができます。

- 1 迫り来る危機 ~地球温暖化とその原因~
- 2 地球温暖化の脅威 ~身近に起きている異変~
- 3 地球温暖化への挑戦 ~温室効果ガス削減への取り組み<緩和策>~
- 4 新たな世界 ~気候変動への適応<適応策>~

■ギフノミライ<実践編ムービー> (各2分程度)
6人の賢者たちから、環境にやさしくらしのヒントを学びます。

1 「環境にやさしいカーライフ」の巻	4 「環境にやさしい移動手段」の巻
2 「環境にやさしい住まい」の巻	5 「環境にやさしいお買い物」の巻
3 「環境にやさしい食生活」の巻	「エコ活動をはじめよう」の巻

■地球温暖化クイズ
地球温暖化のクイズに挑戦し、知識や理解を深めることができます。

- 1 ムービーの復習編クイズ (14問)
- 2 基礎編クイズ (5問)
- 3 応用編クイズ (5問)

「温室効果ガス」

地球の平均気温は約15℃です。しかし近年、温室効果ガスの増加により、平均気温が少しずつ上昇していると言われていることはご存じだと思います。

ところで温室効果ガスと呼ばれる物質は、次のうちどれでしょうか？

- ① 二酸化炭素
- ② フロン類
- ③ メタン
- ④ 一酸化二窒素

実は4つともが温室効果ガスです。この中で、人間が生活することによって一番多く排出されているのが二酸化炭素であり、全体の76%を占めています。

二酸化炭素は、主に化石燃料（石油や石炭、天然ガス等）を燃やすことによって発生します。現在の日本では、発電の70%以上を火力発電所が担っており、電気を消費することはつまり、化石燃料を燃やして二酸化炭素を空气中に排出していることとなります。そのため、節電や消費電力が少ない電気器具への買い替えが推奨されているわけです。

白熱電球が生産中止となり、LED化が進められるのも消費電力削減のための手立ての1つです。

温室効果ガスの増加は困りますが、温室効果ガスが無くなってしまうと、地球の平均気温は-19℃になってしまうと試算されているので、これも困りますね。要はバランスなのです。

なぜ、地球が温暖化するといけないのでしょうか？

地球の気温が高くなるとどんなことが起きるのでしょうか？ 既に温暖化の影響と考えられている現象がたくさん起きており、報道番組等で取り上げられているので、子どもたちにどんなことを知っているか尋ねてみるのもよいかもしれませんね！ 保護者の皆様は何が思い浮かべられますか？ 「異常気象（干ばつと洪水）」 「巨大台風」 「氷河の後退」 「極地方の氷の融解」 「海面上昇」 「浸食の進行」 「季節のズレ」 「酷暑日・熱帯夜の増加」 「海流の変化」 「魚介類の不漁」 「農産物の収穫量の減少」 「伝染病の拡大」 「生態系の変化」 等。あげれば限りがないぐらいです。子どもたちの「未来を見る目」を育てるためにも、家庭での話題にしてください。

「おしえて！地球温暖化」

持続可能な未来をつくるには
君の力が必し。さあ、一緒に行動しよう！

最近の異常気象は、地球温暖化が原因か？

地球の平均気温は、1950年から2010年まで、約1.5℃上昇しています。

環境省